

## 回転式チューブジョイントの有効性の検討に関する研究

### 1. 研究の対象

2018年4月1日～2022年3月31日の間、当院第二病棟2階泌尿器科病棟で尿路変更手術を受けストーマ装具を装着された方

### 2. 研究目的・方法

尿路変更手術後、患者さんのストーマ排泄管理の自立に向け管理方法を指導していますが、夜間のパウチ内の尿の停滞によりストーマ装具が剥がれ、尿漏れが起きる現状があります。原因の1つとして寝返りなどで起こるストーマ装具やパウチに接続したカテーテルの捻じれ、屈曲によりバックへの尿排泄が阻害されパウチ内に尿が貯留してしまうことがあげられます。先に述べたトラブルの改善策として、ストーマ装具と排泄バックの接続部に回転式チューブジョイントを用いることで、ストーマ装具の捻じれを解消することができ、尿路変更手術後患者のストーマ装具の捻じれによるトラブルを防ぐことができると想定しました。2020年より、株式会社フルヤモールド、秋田県産業技術センター、産学連携推進機構と共同で回転式チューブジョイントの開発を重ね、この度試作品が完成しました。

開発した回転式チューブジョイントの有効性を検討するにあたり、回転式チューブジョイントが開発される前の2018年4月1日～2022年3月31日の間、当院第二病棟2階泌尿器科病棟で尿路変更手術を受けストーマ装具を装着された方のストーマ排泄管理方法について、看護記録を参照に調査し、比較・分析することにしました。

この研究結果をもとに回転式チューブジョイントの更なる改良を重ね、将来、尿路変更手術を受けた患者さんのストーマ管理のトラブルを防ぐ一助となり、療養生活におけるセルフケアへの貢献をしたいと考えています。

回転式チューブジョイントとは、ストーマ装具と排泄バックの接続部に使用するコネクターを示し、この度開発を重ねて完成した回転するコネクターを総称したものです。

研究実施期間：研究実施許可日～2026年3月31日

利用を開始する予定日：2024年3月26日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテの看護記録から、性別、年齢、体重、術式、ストーマ装具の種類、パウチ内の尿の停滞によりストーマ装具が剥がれて尿漏れがあった件数、尿漏れの原因の抽出等のデータを収集し分析します。

情報収集の際には個人が特定される氏名や生年月日が含まれない状態でデータを取り扱い、解析で用いる情報は統計的に処理し個人が特定されないように致します。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が本研究に用いられることについて患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と致しません。拒否の申し出は、データの分析を開始するため、2025年3月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市広面字蓮沼 44-2 電話番号 018-884-6714(第二病棟2階)

秋田大学医学部附属病院看護部 第二病棟2階

渡邊洋美(研究責任者)、夏井遼、靱山恵里菜

-----以上